

# 群大病院だより

GUNDAI NEWSLETTER

〒371-8511 群馬県前橋市昭和町三丁目39-15 / TEL 027-220-7111(代) / ホームページ <https://hospital.med.gunma-u.ac.jp/>

## 病院機能評価機構の認証を受けて

医療の質・安全管理部長 小松 康宏



### 医療の質・安全を保証する「病院機能評価」

当院は、昨年、病院機能評価の認定を更新しました。2004年に初回の認定を受けてから、4回目の認証となります。患者の皆さまに最善の質と安全な医療を提供したいというのは世界中の医療者の共通の願いです。実際に提供されている医療の質と安全レベルを、中立的な第三者機関が客観的、科学的に評価するのが「病院機能評価」です。2018年から高度医療の提供、高度医療技術の開発や研修を実施する病院を対象とした「一般病院3」が新設され、当院はこの認定を受けました。群大病院の提供する医療の質と安全、病院運営の体制などが、高度医療を担当するに値すると客観的に示されたことを意味します。

### 診療・ケアの実際を厳密に評価

病院機能評価は、書類審査だけでなく、外来や病棟に審査員が足を運び、診療の実際を審査します。審査にあたっては、約10人の審査員が来院し、3日間に渡って診療の実態や病院の環境設備、入院患者さんの療養環境や職員の労働環境についても調査します。今回、講評の最後に審査員のリーダーから「群大病院は認定されるべき病院」との言葉をいただきました。大変名誉なことで、職員も誇りを持って仕事に励めると思っています。

### 病院機能評価を改善につなげていく

「安全確保に向けた体制が確立しているか」「来院した患者が円滑に診察を受けることができるか」など、何十もの評価項目がありますが、評価判定は、S、A、B、Cの4段階で評価されます。当院は、ほとんどがA判定をうけることができました。さらに、良質な医療の実践の分野で「患者・家族への退院支援を適切に行っている」「画像診断機能を適切に発揮している」「放射線治療機能を適切に発揮している」ではS判定をいた

できました。一方、「投薬の手順が病棟毎に異なっている点」があることを指摘されました。そこで、2019年の10月からは院内で統一された運用を行っています。

病院機能評価を受審する意義は、「認定される」ことにとどまらず、改善点を見出し、医療の質と安全の一層の高みをめざすことができる、貴重な機会になったと思います。

### 患者参加型医療で医療安全を強化

自らの病気や治療について理解し、治療法の決定に積極的に参加する、さらに病院の運営にも患者・家族の視点を反映していく「患者参加型医療」は世界の趨勢です。当院では、これまで患者参加型医療に力を入れてきました。入院患者さんが自分のカルテを閲覧できる「カルテ共有」は、それを実現する手段のひとつです。国内の大学病院で、入院患者さんが自分のカルテを電子カルテで見ることができるのは群大だけだと思います。自分のご病気に関心を持つことは、病気に関する知識を高め、治療効果の向上にもつながります。医療者と患者が協働して医療の質と安全を高め、いく、「患者参加型医療」を発展させていきましょう。

も く じ



- 病院機能評価機構の認証を受けて ..... 1 ページ
- 内科診療センターの紹介 ..... 2 ページ
- 大規模災害を想定した多数傷病者受入訓練を実施しました ... 3 ページ
- 新任のご挨拶 ..... 3 ページ
- 病院探検! 「輸血部」 ..... 3 ページ
- ボランティア活動発足 20 周年 ..... 4 ページ
- 難病相談支援センターのご案内 ..... 4 ページ
- 医学部医学科 4 年生が臨床実習を開始しました! ..... 4 ページ

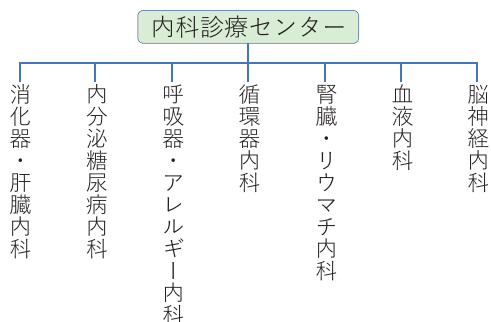
# さまざまな内科疾患を最新の医療技術により丁寧に診療します

## 内科診療センターの紹介

内科診療センター長 池田 佳生

### 内科診療センターをご存知ですか？

従来の講座に基づいた内科診療体制を改革し、2015年度より内科診療センターが発足しました。また所属する診療科については、循環器内科、呼吸器・アレルギー内科、消化器・肝臓内科、内分泌糖尿病内科、腎臓・リウマチ内科、血液内科および脳神経内科の7つの診療科に臓器別、診療領域別に再編成がされました。各診療科は診療科長を中心としてこれまで以上に密接な連携がされ、群大病院の内科医が一丸となって日々の診療に従事しています。



内科診療センターの組織図



内科診療センターの医師

### 内科診療センターの理念

#### 1. 患者さん中心の医療

当センターの各診療科には高度の医療技術を有した日本でもトップレベルの専門医が在籍しており、患者さんに喜ばれる医療を提供しています。これまで多くの病院における内科診療では、各診療科の専門とする病気以外のことについては見過ごされやすい状況があったように思います。高齢化社会を迎え

た今日、一つの病気だけではなく、いろいろな病気をお持ちの患者さんが増えています。一つの病気を治療しても他の病気がそのままになってはいけません。内科診療センターでは専門的な知識と技能を有し、同時に総合的に患者さんを診療できる医師が各診療科の垣根を取りはらい、協力して一人一人の患者さんの診療を丁寧に担当させていただくことを心がけています。

#### 2. 医療の質と安全に配慮した高度なチーム医療

患者さんの治療上の問題点は各診療科内のみならず内科診療センター内で他分野の専門医を交えて検討されます。院内で定期的に行われている内科グランドカンファレンスでは、内科の医師だけでなく関連診療科の医師、メディカルスタッフ、事務職員など多職種が一堂に会し、患者さんの治療方針、患者さんにご家族への説明と対応、病院としてのシステムの問題などについて徹底的に話し合われています。課題が生じた際には速やかに改善策を検討し、さらに必要があれば病院幹部へ提言を行うこととしています。これにより患者さんへ安全・安心な医療を提供することを心がけています。



内科グランドカンファレンスの様子

### 大学病院の内科診療センターとして

内科診療センターとして、最新かつ高度の全人的医療を提供することを使命と認識し、群馬県の医療を支える優秀な内科医の育成にも努めていきます。このことは群大病院内科診療センターだけでなく、わが国の内科診療の発展に役立つことになると信じています。





## 大規模災害を想定した多数傷病者受入訓練を実施しました

令和元年12月1日（日）に第7回多数傷病者受入訓練（トリアージ訓練）を行いました。

同日午前8時に前橋市で震度5弱の地震が発生した想定で、参加者はセコム安否確認サービスの連絡により自宅から病院へ参集しました。（参加者約240名（傷病者役含む））



傷病者受入の様子

集まった職員は、傷病者受入の準備を行い、次々と搬送される傷病者を治療の優先度によって振り分け（トリアージ）、診療を行っていきました。

いざという時により安全かつ迅速に動けるよう、職員一丸となって準備をしていきたいと考えております。



災害対策本部での活動風景

## 新 任 の ご 挨拶



放射線科 教授 大野 達也

放射線治療は、手術、薬物療法とともに、がん治療の3本柱のひとつで、ねらった部位に集中させる照射技術が近年飛躍的に進歩しました。根治性が高く、体への負担の少ない治療を目指しています。国内大学病院として初めて導入された重粒子線がん治療も、のべ3800人をこえる患者さんに行ってきました。これからもチーム医療を心がけ、安全な体制を第1に先進的な医療を提供できるようがんばります。

## 病院探検！「輸血部」



### 『安全で適正な輸血医療の提供に努めています』

輸血部は、怪我や病気で血液成分が足りなくなった患者さんに血液製剤を供給する部署です。医師2名、臨床検査技師5名、看護師1名で安全で安心な血液製剤を提供すべく日々適切な検査と血液製剤の管理・運用を行っています。部屋は中央診療棟2階の一番奥の目立たないところにあり、血液製剤を保管する約20台の冷蔵庫に取り囲まれて仕事をしています。医師と看護師は自己血輸血の採血や末梢血幹細胞の採取をおこなっております。

私たちは、24時間体制で診療を支援します。



輸血のことならお任せ下さい

## ボランティア活動発足20周年

ボランティア活動が発足して昨年の9月で20年が経ちました。この間累計で435名の方がボランティア活動に参加してくださいました。現在は50名の方が活動されています。そして、20年の長きにわたり活動されている方が10名もいらっしゃいます。

患者さんのお手伝いだけでなく、子供さんへの読み聞かせ、折り紙のご指導等、様々な活動もしていただいています。ボランティア活動員の皆さんがいらっしゃるおかげで、患者さんも安心してご来院頂ける事と思います。

長い間、温かいお手伝いをいただき感謝の思いでいっぱいです。



年2回行われるボランティア懇談会

## 難病相談支援センターのご案内

令和元年4月より当院は難病診療連携拠点病院に指定され、群馬県難病医療ネットワークを立ち上げ、難病の方がより早く診断を受け、身近な地域で治療が受けられるように取り組んでいます。

難病相談支援センターは、患者支援センター内にあり、難病の方が地域で安心して暮らすことができるように支援しています。難病の療養生活に関する様々なご相談や患者さん同士の交流のお問い合わせなど、気軽に相談できる窓口ですので、ご利用ください。

難病についてのお悩みや治療と仕事の両立に関するご相談を相談支援員が電話や面接でお受けしています。

TEL：027-220-8069、027-220-8536

受付時間：平日9:00～15:30（面接は予約制）



## 医学部医学科4年生が臨床実習を開始しました！

医学部医学科では、令和元年12月20日(金)にMDCバッジ授与式を執り行いました。臨床実習に必要な知識・技能・態度が身に付いているかを評価する全国共通の共用試験に合格し Student Doctor と認定された医学科4年生107名に、医学部長、病院長をはじめとする指導者から認定証と臨床実習生を示すMDCバッジが授与されました。

1月から院内内で医師の指導のもと診療参加型臨床実習に臨んでいます。医療チームの一員として診療に参加させていただきますので、患者さん、ご家族の皆様、ご理解とご協力をお願いいたします。



群馬大学医学部附属病院「群大病院だより」

第8号 2020年2月

編集 ■ 群大病院だより編集委員会

発行 ■ 群馬大学医学部附属病院

発行日 ■ 2020年2月27日

ホームページ ■ <https://hospital.med.gunma-u.ac.jp/>

### 病院の理念

大学病院としての使命を全うし、国民の健康と生活を守る。

### 基本方針

安全・納得・信頼の医療を提供する。  
次代を担う人間性豊かな医療人を育成する。  
明日の医療を創造し、国際社会に貢献する。  
医療連携を推進し、地域医療再生の拠点となる。